



「川瀬千太郎役」中川大志

「迎律子役」小松菜奈

3月10日から公開!

映画「坂道のアポロン」



一生ものの友達
一生ものの恋
ともに奏でた音楽
運命を変える出会いを描く感動作
僕とあいつと彼女の10年の愛の物語
「坂道のアポロン」

本市出身の漫画家・小玉ユキさん原作の「坂道のアポロン」を実写化した映画がいよいよ3月10日④から全国一斉に公開されます。原作者も佐世保、舞台も佐世保、ロケも佐世保中心に行われ、かつて200人を超えるプロのジャズミュージシャンが全国から集まり「ジャズの街」と呼ばれていた佐世保にぴったりの映画ですので、どうぞご覧ください。

ストーリー

医師として病院に勤める面見薫。忙しい毎日を送る薫のデスクには1枚の写真が飾られていた。笑顔で写る3人の高校生。10年前の夏、一度と戻らない、特別なあの頃。あの夏、転校先の高校で、薫は誰もが恐れる不良、川瀬千太郎と運

命的な出会いを果たす。2人は音楽で繋がれ、荒っぽい千太郎に、不思議と薫は惹かれていく。ピアノとドラムでセッションし、千太郎の幼なじみの迎律子と3人で過ごす日々。やがて薫は律子に恋心を抱くが、律子の想い人は千太郎だと知ってしまう。切ない三角関係ながら、2人で奏でる音楽はいつも最高だった。しかしそんな幸せな青春は長くは続かず。

主演・監督など

主演・薫を演じるのは、映画単独初主演となる知念侑李。薫の親友となる千太郎役に中川大志。2人は本作の出演に当たり、約10カ月にわたる猛特訓を重ね、本番では奇跡に近いセッションシーンを披露します。薫に想われる、千太郎の幼なじみ・律子役に小松菜奈。温かくも透明感のある存在感で二人を見守ります。昨年4月から6月まで、市内のさまざまな場所でロケに臨んだ俳優の皆さん。

くなど高い評価を得ており、今回満を持して映画化されました。

小玉ユキさんのコメント

最初にお話をいただいたときは、60年代という舞台、方言、そして何よりジャズの演奏シーンという障壁をどうやって乗り越えるのか想像がつきませんでした。しかし試写で目に飛び込んできたのは「まさにこれが私が描きたかった世界だ」と思えるような映像でした。アポロンのキャラクターたちがあの時代、あの場所ですべて生きていました。そして肝心の演奏シーンは予想をはるかに超えた素晴らしいシーンに仕上がっており、実写の演奏の迫力に鳥肌が立ち、涙があふれました。関わってくださった全ての人に感謝しています。

キャスト

知念侑李、中川大志、小松菜奈
真野恵里菜 / 山下容莉枝、松村北斗
SIXTONES / ジャニーズWEST、野間口徹
中村梅雀、ディーン・フジオカ
監督・三木孝浩 脚本・高橋泉
音楽・鈴木正人
制作プロダクション・アスミック・エース、C&Eエンタテインメント 配給・東宝アスミック・エース

観光課 ☎ 24・11111

主な市内ロケ地
佐世保北高校、龜山八幡宮、坂道(峰坂町、八幡坂)、白浜海水浴場、浅子教会、黒島天主堂、外国人パー通り、眼鏡岩、聖和女子学院、旧花園中学校、早岐中学校、展海峰、石岳展望台など



詳しい情報は
こちらからどうぞ！
映画「坂道のアポロン」
公式サイト

